

第38回（令和6年度）岡山県性教育研究大会報告

岡山県性教育協議会
会長 西山 俊吾

1 研究大会開催にあたって

令和6年8月19日（月）第38回岡山県性教育研究大会を岡山県立大学（総社市窪木）で開催いたしました。今年度は5年ぶりの対面形式での開催となりました。参加者は48名とやや少なめでしたが、アンケートの中には「対面ならではの、集まった方々の意見をリアルタイムで聞けて、自分の悩みも吐き出せたのが、とても有意義でした。」

「指導で使われた教材を細かく見させていただき、参考になりました。また、対面だからこそ、講師の先生に気楽に質問することができました。」などがあり、対面形式の研修会の良さを再確認し、同じ空気を共有しながら性を共に学ぶという、岡山県性教育協議会の活動の方向性を見定める意味で、大変有意義な研究会でした。

開会では、20年以上前の会長である私の、中学校での性教育の授業の動画に興味をもって見ていただきました。昔も今も性教育の本質は変わらないということを実感し、なごやかなムードで研究会が始まり、地に足のついた、安定感のある岡山県性教育協議会らしい研究会ができたと自負しております。

午前中は2つの講演を行い、午後はその講演をテーマに2つの分科会を行いました。

2 大会の内容

期 日 令和6年8月19日（月）

会 場 岡山県立大学

参加者 48名

3 基本テーマ

「小さな熱意から生まれる性教育の歩み
—岡山県の性教育を支える確かな取り組み—



4 講演

【講演①】

「特別支援学校の性に関する指導」
倉敷まきび支援学校 養護教諭 小野和美
西備支援学校 養護教諭 吉田雅代

○知的障害のある児童への初経指導

○人との距離感など適切な関わり方についての指導

岡山県立西備支援学校（知的障害部門、肢体不自由部門）や岡山県立倉敷まきび支援学校（知的障害部門、肢体不自由部門）の授業づくりや教具・教材づくりについて紹介いただきました。

【講演②】

「大学生が考えるリアルで正解のない性教育」

岡山SRH研究会学生部代表

岡山大学教育学部養護教諭養成課程2年

浪江香暖、清瀬依美璃

○岡山SRH研究会学生部の活動の紹介

・オンライン勉強会 ・学校訪問 等

○こんな性教育ってありでしょうか

・自作性教育動画（束縛）中学生対象

○グループワーク（分科会）

・事例1 性感染症 ・事例2 性的同意

5 分科会

それぞれの講演をテーマにした分科会1, 2

6 アンケートから

○対面でいろんな話ができよかったです。

学生さんの頑張りが素晴らしかったです。

○実物の教材を確認できたりグループワークなどがあり、とてもよかったです。

○分科会で、各校の課題が数多く出され、早期に性教育が始められ、中学、高校と継続して行われることの重要性を、改めて感じることができました。

7 終わりに

今後も対面形式を基本に、ていねいに研究会を重ねていきたいと思っております。

第37回岡山県性教育研究大会/第18回中国・四国地区性教育研究大会報告

岡山県性教育協議会 会長 西山 俊吾

1 研究大会開催にあたって

令和5年8月17日(木),第37回岡山県性教育研究大会・第18回中国・四国地区性教育研究大会を開催いたしました。参加者の希望や予算のことなどいろいろな条件を考慮して、前年度に引き続きウェビナー形式での開催を選択しました。参加者は84名と対面形式で行っていたときよりもやや多く、岡山県性教育協議会らしい、アットホームで充実した研究会を行うことができました。

講演のテーマの1つは、「感染症の理解」という、現場の先生方にとっては身近で最近の課題に沿ったものを選びました。もう1つは助産師さんによる「大切な自分・大切な命」という小中学校での出前講座のお話で、性教育とは何かをあらためて考えさせられるお話しでした。

2 大会の内容

期 日 令和5年8月17日(木)

会 場 岡山県立大学(ウェビナー形式)

参加者 84名

3 基本テーマ

「岡山の子どもたちに性教育を届け続けるために」——一人ひとりの生と性を大切に——

4 講演

講演の内容を紹介していますが、紙面の都合で主な内容のみの記載で、講演者の意図が十分に伝わらないことをお許しください。

【講演①】 「性感染症など感染症の理解」
吉備国際大学保健医療福祉学部看護学科
中瀬 克己 教授

講演①では、吉備国際大学教授の中瀬克己先生に、保健所長や大学の先生などの幅広い経験を生かし、感染症の理解とくにエイズ、梅毒、コロナなどの理解と学校における感染症対策について詳しくわかりやすく、お話しをしていただきました。

エイズや梅毒については、資料を使って全国や岡山県の感染状況やその対策について、詳しくお話しをしていただきました。また、

その感染に関わる周辺状況について、患者さんの気持ちに寄り添うようなお話しやコロナ下での状況など、私たちがコロナ下で感染症とどう向き合えばよいかの指針になるお話しもしていただきました。事前に小中学校の養護教諭の困り事を聞き取るなど、学校での感染症対策のお話しは大変参考になりました。

【講演②】 「大切な自分・大切な命」

～模擬授業を通して小中学生に必要なテーマを考える～

生きテクサポート/Life is 代表

東海林美由紀 助産師

講演②では助産師の東海林さんから、小学



校での出前授業を臨場感たっぷりに実演していただきました。命の大切さをどう伝えるか、性教育はいかにあるべきかを再認識させられるお話しでした。助産師としての山あり谷ありの今までの変遷や3人の子どもの母親としての素顔、そして何よりも性教育に対する熱い思いなど、優しさが溢れ出るお話しでした。

5 大会を振り返って

大会の感想では、「エイズ・梅毒の現状について詳しく知ることができました」や「子どもが生まれたときを思い出して泣きそうになりました」などがありました。岡山県性教育協議会らしく、40年近い長い歴史に、さらに小さくしっかりとした一歩を積み重ねることができました。